

授業概要

経済学の基本的理論と今日の主要な課題を講義する。今日の経済学の問題点を理論的に理解し、そのうえで今日の経済問題について情報に流されることなく、自分で考える能力を少しでも身に着けることを目標とする。講義の主題は経済理論と現実経済の概要である。学生が基本的な経済学の考え方と理論を理解し、時事的な経済問題を分析できるように指導していきたい。

授業計画

第 1 回	経済学と経済社会(ガイダンス)
第 2 回	世界経済の歩み―第二次世界大戦後
第 3 回	ヨーロッパ経済統合の軌跡
第 4 回	日本経済の現状
第 5 回	福祉国家と財政危機
第 6 回	市場経済と市場の外部
第 7 回	労働の役割と労働生産性について
第 8 回	生産の仕組み
第 9 回	生産と価値の形成
第 10 回	貨幣の機能
第 11 回	景気循環と失業(理論)
第 12 回	需要と供給
第 13 回	成長と停滞の経済学
第 14 回	新自由主義(米・英の違い)
第 15 回	国際経済の変容
第 16 回	期末試験

到達目標

経済学の基本的な理論を理解すること。経済学の仕組みに関する基本的な知識を理解すること。

履修上の注意

経済問題に関心を持つこと。ノートや資料を中心に学習すること。シラバスに記載はないが、理解度の確認のため適宜確認テストを課す予定。

予習・復習

ノートや資料を整理して理解を深めること。確認テストがあればテストをやり直すこと。

評価方法

期末試験(50%) 確認テストもしくは課題(50%)

テキスト

授業中に参考文献を指示する。